

船舶事故等調査報告書

平成22年6月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010門第22号	
事故等種類	沈没	
発生日時	平成22年2月6日 13時12分ごろ	
発生場所	山口県下関市蓋井島西方沖 蓋井島灯台から真方位298°18海里付近 (概位 北緯34°14.37' 東経130°27.78')	
事故等調査の経過	平成22年2月8日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 引船 ^{クム ジョ} KUM JO101、119トン 8962682（IMO番号）、KUM JO MARINE CO.,LTD B 浮ドック、全長57.8m、全幅18.6m、深さ7.5m	
乗組員等に関する情報	船長、外国免状	
死傷者等	なし	
損傷	浮ドックの沈没	
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、浮ドックをえい航して、大韓民国釜山港に向けて、低速力で、手動操舵により北西進中、浮ドックが沈みかけたため、引船乗組員がえい航索を巻き込んで緊張させ、約20mを残して切断したところ、平成22年2月6日13時12分ごろ、蓋井島西方沖において、浮ドックが沈没した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北西、風速 約13m/s、視界 良好 海象：波高 約3m	
その他の事項	えい航索は、ポリエチレン製（長さ約200m、直径約100mm）とビニール製（長さ約50m、直径約50mm）から構成されていた。 沈没海域の水深は、約96mであった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	なし 引船 なし、浮きドック 不明 不明 本船は、蓋井島西方沖において、浮ドックをえい航中、浮ドックに浸水したことから沈没したものと考えられるが、浸水した状況を明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、本船が、蓋井島西方沖において、浮ドックをえい航中、浮ドックに浸水したため、浮ドックが沈没したことにより発生したものと考えられる。	